

文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点(立命館大学)

現代に伝わる 板木展

「板木」は、江戸時代から明治時代にかけて、日本全国の各地で盛んに制作された、木製の浮世絵。その特徴は、木目の質感を活かした、独特の表現方法にある。本展では、板木の歴史や制作過程、そしてその芸術的価値について、詳しく紹介する。



2012年1月23日[月] ▶ 2月10日[金] 9時30分～17時

※土・日・祝日は休館、ただし2月4日(土)、5日(日)は開室予定

立命館大学アート・リサーチセンター 1F 閲覧室 [入場無料]

<http://www.arc.ritsumei.ac.jp/lib/GCOE/2012/hangi/>

主催：文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(立命館大学)、立命館大学アート・リサーチセンター

企画：文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」(立命館大学) 日本文化研究班・赤間研究室 [担当] 金子貴昭(日本文化研究班PD)

協力：美術書出版株式会社芸神堂、高橋一文、竹苞書楼、永井一彰(奈良大学文学部教授)、奈良大学博物館、藤井文政堂、株式会社法蔵館、八木治男(八木兵商店)、芳村弘道(立命館大学文学部教授)



現代に伝わる 板木展

文部科学省グローバル COEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ」拠点（立命館大学）日本文化研究班・赤間研究室では、奈良大学文学部・永井一彰教授との共同研究において、板木資料の情報共有化をめざし、奈良大学所蔵板木約 5,000 点のデジタルアーカイブ構築と公開を行ってきました。またこれらの板木を企画展「近世版木展」（2009 年 2 月～3 月）において展示し、板木とはどのようなものか、板木から何が分かるのかを問うてきました。

今回の展覧会は「近世版木展」の続編として開催するものです。今回の展覧会では、前回の問いかけを引き継ぎつつ、展示対象を日本文化研究班が調査に着手した複数のコレクションに拡大します。現代までに多くの板木が逸失してしまったことは事実ですが、板木の保存に関わられている人々の努力により、質・量ともに日本文化研究に資する板木が存外によく現代に伝えられています。本展覧会の開催により、板木の現存が周知され、板木という研究資料が照射されることになれば幸いに存じます。

また本展覧会は、今年度、アート・リサーチセンターに収蔵された摺師・五代高橋新治郎旧蔵板木のお披露目も兼ねております。

展示一覧 | 高野版の板木、藤井文政堂の板木、竹苞書樓の板木、芸艸堂の板木、法蔵館の板木、マリア書房の板木、摺師・五代高橋新治郎の板木



① 表面：【上】宝暦 2 年 (1753) 刊『野山名雲集』板木 (奈良大学博物館所蔵、K0070、部分)
【下】昭和元年 (1926) 刊 団扇「柳に船」板木 (立命館 ARC 所蔵、arcMD01-0096-01、部分)
裏面：【①】宝暦 2 年 (1753) 刊『野山名雲集』板木 (奈良大学博物館所蔵、K0080)
【②】文化 3 年 (1806) 刊『雨山次第』板木 (奈良大学所蔵、T0373、部分)
【③】昭和元年 (1926) 刊 団扇「松に船」板木 (立命館 ARC 所蔵、arcMD01-0096-06)
【④】寛保 3 年 (1743) 刊『魚山私鈔』板木 (奈良大学所蔵、K0029、部分)、板木 (立命館 ARC 所蔵、arcBK01-0091、上・一オ)



板木・板本をめぐる研究集会

申込不要・参加費無料

場所：立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

2012 年 2 月 4 日[土] 14:00～17:30

「板木は語る、板木を語る」

■講師（発表順）

永井一彰（奈良大学教授）、西村七兵衛（株式会社法蔵館）、
藤井佐兵衛（藤井文政堂）

2012 年 2 月 5 日[日] 10:00～17:40

「和本エンタテインメント

—和本の魅力を再検討する—

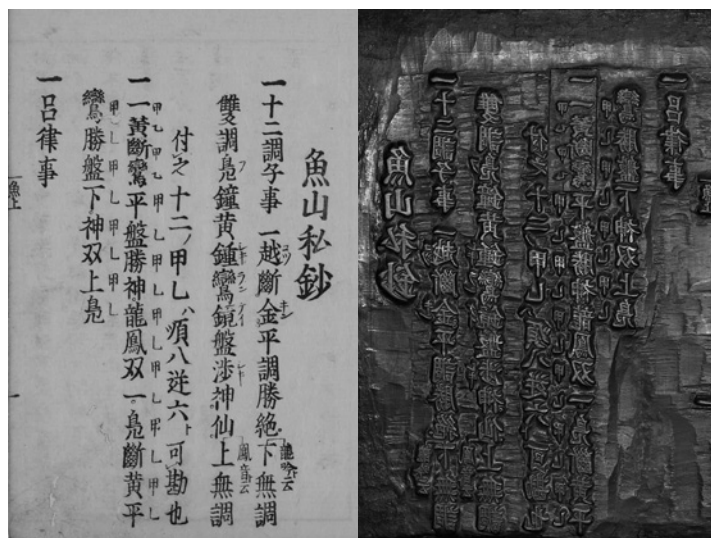
■講師（発表順）

中野三敏（九州大学名誉教授）、橋口侯之介（誠心堂書店）、
金子貴昭（立命館大学 PD）、高木元（千葉大学教授）、
鈴木俊幸（中央大学教授）、廣瀬千紗子（同志社女子大学教授）、
赤間亮（立命館大学教授・本拠点リーダー）

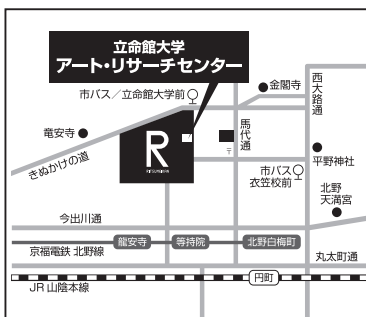
関連イベント情報

②

③



④



- URL <http://www.arc.ritsumeai.ac.jp/lib/GCOE/2012/hangi/>
- 主催 文部科学省グローバル COE プログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」（立命館大学）
- 企画 日本文化研究班・赤間研究室 担当：金子貴昭（日本文化研究班 PD）
- 協力 美術書出版株式会社芸艸堂、高橋一文、竹苞書樓、永井一彰（奈良大学文学部教授）、奈良大学博物館、藤井文政堂、株式会社法蔵館、八木治男（八木兵商店）、芳村弘道（立命館大学文学部教授）

■ 問い合わせ先

立命館大学アート・リサーチセンター事務局

〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1 TEL: 075-466-3411 (平日 9:00～17:30) e-mail: arc-jimu@arc.ritsumeai.ac.jp